

【索引】 地方公共団体の取組事例

| 地方公共団体名（人口） 【対象災害がある場合は記載】 ※人口：R4.4.1 時点 | | 取組事例のタイトル | | ページ数 |
|--|--|--|---|-----------------|
| 都道府県 | 鳥取県（約 55 万人） 【平成 28 年鳥取県中部地震、 令和 3 年 7 月の大雨】 | 7.1 | 災害ケースマネジメントを県の条例に位置付けている例① | 166 |
| | | 7.2 | 県が主体となった災害ケースマネジメントの実施例 | 170 |
| | | 9.2 | 平時からの体制整備についての振り返りと対応例 | 190 |
| | | 10.1 | 発災後に福祉施策を活用：平時の福祉施策の支援関係機関等と連携体制構築の例② | 200 |
| | | 10.2 | 既存の福祉施策の会議体の活用の例 | 205 |
| | 岡山県 【平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）】 （約 185 万人） | 7.2 | 被災者見守り・相談支援等事業を活用して、県が包括的・重層的に市町村支援を実施した例 | 172 |
| | 徳島県 （約 72 万人） | 7.1 | 災害ケースマネジメントの推進に取り組む都道府県の例 | 164 |
| | | 7.1 | 災害ケースマネジメントを県の条例に位置付けている例② | 166 |
| | 市町村 | 北海道厚真町 （約 4 千人） 【平成 30 年北海道胆振東部地震】 | 3.1 | 総括担当部局を取組主体とした例 |
| 4.3 | | | 支援記録の作成例⑦ | 127 |
| 6.3 | | | 日々のケア・専門的ケア・研修会等を組み合わせて実施した例 | 159 |
| 10.1 | | | 発災後に福祉施策を活用：平時の福祉施策への引継ぎの例① | 201 |
| 岩手県盛岡市 （約 28 万 5 千人） 【東日本大震災（平成 23 年）】 | | 4.2 | 支援記録の作成例② | 91 |
| | | 4.3 | 支援頻度の設定例② | 109 |
| | | 4.3 | 支援記録の作成例⑤ | 122 |
| | | 9.2 | 関係者間での情報共有についての振り返りと対応例 | 189 |
| | | 10.3 | 福祉事業関係者との情報共有の例 | 207 |
| 岩手県岩泉町 （約 8 千人） 【平成 28 年台風第 10 号】 | | 4.1 | 地方公共団体の調査票の例① | 45 |
| | | 4.2 | 支援記録の作成例③ | 93 |
| | | 4.3 | 相談シートの例 | 112 |
| | | 4.3 | 支援記録の作成例⑥ | 125 |
| | | 5.2 | 被災者の理解・同意を得やすい工夫事例 | 144 |
| | | 10.1 | 発災後に福祉施策を活用：平時の | 202 |

| 地方公共団体名（人口） 【対象災害がある場合は記載】 ※人口：R4.4.1 時点 | 取組事例のタイトル | | ページ数 |
|--|--|--|------------------------|
| <p style="text-align: center;">宮城県仙台市 (約 106 万 5 千人) 【東日本大震災（平成 23 年）】</p> | | 福祉施策への引継ぎの例④ | |
| | 3.1 | 新たに実施部局を設置し、連携体制を構築した例 | 19 |
| | 4.2 | 地方公共団体の不在連絡票の例② | 78 |
| | 4.2 | 支援記録の作成例① | 89 |
| | 4.3 | 支援頻度の設定例① | 109 |
| | 4.3 | 支援記録の作成例④ | 120 |
| | 10.1 | 発災後に福祉施策を活用：平時の福祉施策への引継ぎの例② | 201 |
| <p style="text-align: center;">茨城県常総市 (約 6 万 2 千人) 【平成 27 年 9 月豪雨】</p> | 3.2 | 協定を活用し連携体制を構築している例① | 27 |
| | <p style="text-align: center;">新潟県村上市 (約 5 万 7 千人) 【令和 4 年 8 月 3 日からの大雨】</p> | 9.2 | 庁内全体の認識共有についての振り返りと対応例 |
| <p style="text-align: center;">長野県茅野市 (約 5 万 5 千人) 【令和 3 年 9 月豪雨・土砂災害】</p> | | 3.3 | 災害対策本部員に民間団体を位置づけている例 |
| | 4.1 | 現地に支援拠点を設置した例 | 38 |
| | 4.1 | 発災直後のアウトリーチの実施例① | 42 |
| <p style="text-align: center;">静岡県磐田市 (約 16 万 5 千人) 【令和 4 年台風第 15 号】</p> | 4.2 | 水害の際に、罹災証明書の取得状況を地図上にプロットし、個別訪問先を検討した例 | 62 |
| <p style="text-align: center;">愛知県岡崎市 (約 38 万 5 千人)</p> | 3.3 | 災害ケースマネジメントを地域防災計画に位置づけている例 | 29 |
| <p style="text-align: center;">岡山県倉敷市 (約 47 万 9 千人) 【平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）】</p> | 3.1 | 複数の部局連携による実施体制の構築例 | 20 |
| | 4.2 | 地方公共団体の調査票の例③ | 71 |
| | 10.1 | 発災後に福祉施策を活用：平時の福祉施策の支援関係機関等と連携体制構築の例① | 200 |
| | 10.1 | 発災後に福祉施策を活用：平時の福祉施策の支援関係機関等と連携体制構築の例③ | 200 |
| <p style="text-align: center;">広島県坂町 (約 1 万 2 千人) 【平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）】</p> | 3.2 | 地域包括支援センターの会議を活用している例 | 27 |
| | 4.2 | 被災者支援にあたって聞き取り調査を実施した例 | 64 |
| | 4.2 | 地方公共団体の調査票の例② | 67 |
| | 4.2 | チェックリストによる分類の例 | 81 |

| 地方公共団体名（人口） 【対象災害がある場合は記載】 ※人口：R4.4.1 時点 | | 取組事例のタイトル | | ページ数 |
|--|--|-----------|---|------|
| | | 6.3 | 日々の活動の中でのメンタルケアの例 | 158 |
| | 愛媛県宇和島市 (約 6 万 7 千人) 【平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）】 | 10.1 | 福祉施策の枠組による被災者支援の実施例 | 198 |
| | 愛媛県大洲市 (約 4 万 1 千人) 【平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）】 | 3.2 | 協定を活用し連携体制を構築している例② | 27 |
| | | 4.1 | 災害ボランティアセンターと地域 支え合いセンターを並行して設置 した例 | 38 |
| | | 4.2 | 地方公共団体の調査票の例④ | 72 |
| | | 4.2 | ポスティング用の調査票の例 | 75 |
| | | 4.3 | 支援頻度の設定例③ | 110 |
| | | 5.3 | 複数のデータベースを活用し台帳 を作成した事例 | 146 |
| | | 6.3 | 専門的なメンタルケアの例① | 158 |
| | | 10.1 | 発災後に福祉施策を活用：平時の 福祉施策への引継ぎの例③ | 202 |
| | 佐賀県大町町 (約 6 千人) 【令和元年 8 月豪雨、 令和 3 年 8 月の大雨】 | 3.2 | 地域おこし協力隊を活用している 例 | 25 |
| | | 4.1 | 発災直後のアウトリーチの実施例 ② | 43 |
| | | 4.2 | 地方公共団体の調査票の例⑤ | 73 |
| | | 5.2 | 利用目的・提供先の例② | 143 |
| | | 5.3 | 調査票の結果を活用して台帳を作 成した事例 | 146 |
| | | 6.3 | 専門的なメンタルケアの例② | 159 |
| | 熊本県内市町村 【平成 28 年熊本地震、 令和 2 年 7 月豪雨】 | 9.2 | アウトリーチの時期についての振 り返りと対応例 | 189 |
| | | 9.2 | 災害ボランティアセンターの設置 準備についての振り返りと対応例 | 192 |
| | 熊本県熊本市 (約 72 万 9 千人) 【平成 28 年熊本地震】 | 4.2 | 要介護者、障がい者など配慮が必 要な者に対して、市営住宅等との マッチングを実施した例 | 97 |
| | 熊本県八代市 (約 12 万 3 千人) 【令和 2 年 7 月豪雨】 | 5.2 | 利用目的・提供先の例① | 143 |
| | 大分県津久見市 (約 1 万 6 千人) 【平成 29 年台風第 18 号】 | 4.2 | 地方公共団体の不在連絡票の例① | 77 |